

Neues in Nara

Nr.57
2016年10月27日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)
奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内
Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473
<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>
編集: 林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp) 峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



ビア・アーベント

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

クリスマス会

日時: 12月10日(土)17時~19時30分
場所: カジュアルダイニング「fue (ふう)」
奈良市小西町21-1 な・ら・ら 1F
参加費: 3,600円(学生2,000円)
ご家族、お友達をお誘いの上、多数のご参加をお待ちします(詳細、同封の案内チラシを参照)。

●行事報告

1. ビア・アーベント

恒例のビア・アーベントは7月23日(土)大安寺境内で行われ、奈良日独協会からの参加も得て総勢90名近くの盛況のなか、夏の日を大いに満喫、夕暮れとともに河野会長から廻されたるそくの輪が全員に広がり、厳かな夕べを終えた。



2. 第13回シュタムティッシュ

9月4日(日)大安寺催事棟にて開催され、会員の山本雅昭氏より「中世ドイツの刑事司法についてーローテンブルクの中世刑事博物館訪問を機縁として」と題して話題提供頂いた。話は中世の過酷な刑罰から魔女狩りへの対応を経て、深化してきたドイツの刑法について、当時用いられた拷問器具の写真など豊富な写真を交えて進行し、興味の尽きぬ展開となった。



●会員だより

北岡宗洋さんから「定年をきっかけに再び日独協会に参加」

私がドイツに出発する前、大安寺の管長から日独の様々なお話を伺い、ドイツに滞在する奈良の方を紹介して頂きました。それからもう半世紀近くが過ぎました。当時は学生運動、特に東大闘争が燃え上がっている時でしたが、ある大学の先生のドイツでの体験談から私と友人との留学計画が急速に具体化していったことを今でもよく覚えています。



横浜からソビエト、チェコスロバキアを経由してフランクフルトまで四~五日の旅でした。ドイツでの最初の日はヴュルツブルグでの一泊となりましたが、整然とした街並みは私の想定をはるかに超えるものであり、次元が違うなと思ったものでした。

(写真: 横浜からドイツに向けて出発)

次の日には目的地のブランネンブルグという小さな町に旅を進めましたが、車窓から見える雪に覆われたバイエルンの村々の景色は奈良や東京では経験できないロマンチックなものでした。

ブランネンブルグのゲーティンスティチュートには他にも何人かの日本人が来ていましたが、その中に群馬から来ていた青年がいて、彼の傍には毎日ドイツのおじいさんが寄り添っていました。その訳を聞いたところ、おじいさんの娘さんは結婚して群馬におられるということでした。彼はその娘さんからドイツ語を教わったということでしたが、おじいさんのその姿に私達はドイツ人の誠実な義理と情を強く感じたものでした。

これが私のドイツへの旅の始まりだったのですが、退職した今、奈良日独協会に入って、ドイツの風を感じながらもう一度自分を見つめ直してみたいと思っています。



(バイエルンの Chiem 湖にて) (Chiemsee 出身の友人と)

●新入会員の紹介

中村愛子さん(奈良市)が入会されました。

●若手会員をはじめ、ドイツからの研修生、合唱団など多くの交流会が活発に繰り広げられた。

「神戸日独協会若手会員(GJG 会員)との交流会 in 大和郡山を終えて」 芹沢友香

7月3日(土)に神戸日独協会主催の「神戸市立外国人墓地見学会」に参加しました。見学会終了後の懇談会にて奈良日独協会との共同企画を実施しようと話が持ち上がり、その後神戸日独協会の北村理事と一緒に奈良県大和郡山市での藍染・金魚すくい体験を計画しました。



企画から1か月での実施となりましたが、奈良日独協会からは6名、神戸日独協会からは14名(留学生3名含む)、合計20名とたくさんの方に参加していただきました。

近鉄郡山駅で集合後、「ふれ藍工房綿元」で藍染体験をしました。参加者一同ハンカチに思い思いのデザインを染め上げました。体験中も参加者同士の交流が積極的に行われていたと思います。



藍染体験の後は2班に分かれ、「おみやげ処こちくや」で金魚すくい体験と「箱本館紺屋」にて工芸品、金魚の見学を行いました。

最後は柳町商店街にあります「K-Coffee」でかき氷を食べました。留学生の皆さんは藍染、金魚すくい、かき氷の全てが日本に来て初めての体験だったそうです。



近鉄郡山駅で解散後、希望者のみ大和西大寺「珈琲館亜耶」にて懇親会を行い、軽食を頂きながら約1時間半懇談を行いました。

今回は神戸日独協会との初めての共同企画でしたが、とても充実したイベントになりました。是非第2回、第3回と継続して実施していきたいと考えています。

最後に神戸日独協会 栞田会長、北村理事のご厚意にお礼申し上げます。

独日文化交流育英会研修生との交流会

8月22日、河野会長と長年親交のあるケルン独日協会会長夫人マイト美智子さんが若手研修生6名とともに大安寺を訪れ交流の夕べを行った。



「エアフルト聖アウグスティン教会合唱団」来奈

10月8日上記合唱団92名が来奈、当会から河野会長初め会員16名が東大寺、春日大社、興福寺を案内し、交流に努めた。

